

第9回江東区長期計画策定会議  
会 議 録

日時：平成21年11月27日（金）19:00～20:10

場所：江東区役所7階第72会議室

【会議次第】

1. 開会
2. 事務局連絡
3. 「長期計画（分野別計画）＜素案＞」について
4. 長期計画の構成について
5. 主要事業について
6. 人口推計について
7. 今後のスケジュールについて
8. 閉会

【出席者】

<委員>（敬称略・順不同）

青 山 侖	苦 瀬 博 仁	緒 方 泰 子	小 川 哲 男
大 内 浩	山 本 加 津 子	日 向 恵	石 井 毅

<事務局職員>

政策経営部長 大井哲爾 企画課長 押田文子

【傍聴者数】 1名

## 【議事概要】

### 1. 開会

会長

- ・第9回江東区長期計画策定会議を開催いたします。曾根、浅見、韓委員から欠席のご連絡をいただいております。傍聴者は1名です。まず事務局から連絡をお願いいたします。

### 2. 事務局連絡

事務局

- ・机上に配布いたしました会議次第に、配布資料の一覧がございますのでご確認ください。資料46から資料53までになっています。不足がございましたらお伝えください。
- ・資料46は6月30日に開催いたしました第6回策定会議の会議録です。内容をご確認のうえ、お気づきの点などございましたら12月2日(水)までに事務局にご連絡願います。内容確定後に区のHP等で公開して参ります。

会長

- ・資料についてはこれでよろしいですね。
- ・それでは、まず「長期計画(分野別計画)〈素案〉」についてのご説明をお願いいたします。

### 3. 「長期計画(分野別計画)〈素案〉」について

事務局

- ・資料47から49についてご説明させていただきます。
- ・前回、分野別計画の成果指標に現状値・目標値が入った旨ご説明いたしましたが、指標が138と多かったため、その後にメール等でご意見をいただきました。ご意見はいくつかの指標に集約されましたので、それを踏まえて修正した部分について、まずご説明いたします。資料47の3・4頁をご覧ください。
- ・「施策1 水辺と緑のネットワークづくり」について、資料48・49の該当箇所と見比べながらお聞きください。こちらに関しては2つのご意見をいただきました。
- ・青山委員からは、「区民1人当たり公園面積」について、面積の合計値も表示すべきとのご意見をいただきました。人口が増加してくるため、面積が増えてもこの指標ではそれが実感しづらいとのご指摘だと思いますので、面積が増えたことについては、表中かどうかは別としても今後計画のローリングの中などで何らかの形で表記したいと考えております。
- ・同指標について浅見委員からもご意見をいただいております。海の森などが組み入れられれば値は増えるが、指標は実生活で利用する一定の範囲の中でカウントすべきではないかとのことでした。これについては、物理的に難しいため統計的数値の算出にてご容赦願いたいと思います。

- ・ 7・8頁の指標 については、BOD等の記号がわからないとのご指摘をいただきましたので、8頁の下に詳細を注記いたしました。
- ・ 9・10頁については、前回レアメタルの話が出たことに関連して浅見委員よりご意見をいただきました。リサイクル業者を育成するような視点が必要であり、資源化率については、どのようなものをリサイクルしていくか見えた方がよいとのことでした。資源回収事業は、この後項目のみご紹介させていただく予定の主要事業の1つなので、容器包装プラ・発泡トレ等資源回収項目を掲げ5年で回収量を増やすことについて長期計画に盛り込み、主要事業でお見せしたいと考えます。
- ・ 11頁の「地球温暖化防止設備導入助成件数累計」について予算査定前のため調整中と記載しましたが、浅見委員より、温暖化対策への支出については、レアメタル抽出や他区のゴミ処理事業受託の収益化とともに収益とコストの両輪で考えるべきとのご指摘をいただきました。ゴミ処理事業の収益化については、区報等でお知らせのとおり22年度より他区受託分に対して迷惑負担料的な収益が得られる予定ですので、緑化や地球温暖化防止設備導入助成など区民に還元できる事業の原資とすることを考えています。
- ・ 浅見委員からもう1点、「自然エネルギー設備を導入した区施設数」について、民間のマンションについても導入を図るべきではないかとのご意見をいただきました。民間に関してはすぐにとというのは難しく、見直し中のマンション指導要綱の中で取り入れられないか等、所管課と進め方について協議して参りたいと思います。
- ・ 「区民1人当たりの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量」については、母数は何か、また10%減らすのは区のみでの努力で行うのか、の2点について苦瀬委員よりご質問をいただきました。まず、対象とする二酸化炭素の総合計は産業・家庭・業務・運輸・廃棄物の5部門の合計です。次に2014年までに10%減という目標の内訳は、現在策定中の環境基本計画に基づき4.8%が区、5.2%が国です。
- ・ 15・16頁の「施策6 保育サービスの充実」について、苦瀬委員から、待機児童数0は堅持して欲しいが、基準変更も視野に入れた試算も必要とのご意見をいただきました。現在地方分権改革推進委員会等から、大都市部での保育所面積の基準緩和を条例等で行えないかとの声もあがっており、区でも、待機児童数については施設整備のみでなく、基準変更も視野に入れた検討が必要であると考えております。
- ・ 浅見委員からも、待機児童数0はよいが、コスト面、女性の社会進出、共働き増加による税収増など様々な視点を踏まえて実現するべきとのご指摘をいただきました。
- ・ 17・18頁「施策7 子育て家庭への支援」と25・26頁「施策11 地域ぐるみの子育て家庭への支援」の章立について曾根委員からご意見をいただきました。虐待防止、地域・家庭における教育力の向上という特出すべき部分が施策11に入り、施策7にはそれ以外の全般的な子育て家庭支援を入れているのですが、特出する2点だけでは地域が「子育て」に関わる視点が弱いとご意見をいただきました。子育て部門との協議の結果、施策7には行政が子育てに関わる施策をまとめ、施策11は特出すべき2点にまとめたうえで、

施策7の「子育て支援機能の充実」の取り組み例に、地域が関わる事業としてファミリーサポート事業を追記し、説明文を「児童館や保育園等」とすることで、行政だけでなく地域も含めて子育て支援機能を充実することを示しました。

- ・ 19・20 頁の「全国学力調査で全国平均を 100 としたときの区の数値」については、浅見委員から、最高値である秋田県の 107 (小学校平均値) を目指すべきとのご指摘をいただきました。ご指摘を踏まえ所管と協議した結果、小学校の目標値については過去 3 年間で東京都の平均値を超えたことがないため、前回の 105 から、平成 20 年度の都の最高値 105.647 以上ということで 106 に上げました。また現状値を平成 21 年度のものに更新しました。
- ・ 25・26 頁の「地域と連携した家庭教育講座の年間延べ参加者数 (累計)」については、現状値に比べて目標値が大きすぎるのではないかとのご意見を浅見委員からいただきました。これは累計ですので、毎年 2,000 件程度として計算するとこの値になります。
- ・ 27・28 頁の「子どもにとって地域環境が安全であると思う区民の割合」の現状値 26.8% を目標値では 50% としている点について、浅見委員よりもっと高い数値を目指すべきではとのご意見をいただきました。所管と協議の結果、区民アンケート調査ではどちらとも言えない・わからないという回答が約 50% あるため、今回初めての指標であり今後の動きを見てみたいことから、まずは 5 年で半数の 50% を目指したいと思います。
- ・ 33・34 頁については、「事業所数 (工業、商業)」、「地場産業の出荷額」、「創業支援融資貸付件数」の目標値を設定できないかとのご指摘が浅見委員からございました。区の施策、努力だけでは数字を読みとることが難しいため、指標として掲げて数字の動きを見ていくということをご理解をいただきたいと思います。
- ・ 37・38 頁の「消費者相談窓口を知っている区民の割合」、「消費者相談の解決割合」については青山委員から、指標として弱いため消費者相談の件数ではどうかとのご指摘をいただきました。現長期計画においては相談件数を指標としていますが、そこから一歩進めて、解決割合を指標とすることで最初の数値は低いかも知れないが伸ばしていく努力をしたいと考えています。
- ・ 39・40 頁の「区民館・地区集会所・文化センターの利用率」については、浅見委員から豊洲の文化センターの利用率が既に非常に高いとのご指摘を受けました。これについては、後に説明いたします主要事業の「(仮称)シビックセンターの整備」も含めて、人口に見合ったハード整備を検討したいと考えています。
- ・ 43・44 頁の「男女が平等だと思う区民の割合」については、浅見委員から、人により様々な解釈をされるため具体的な事例を入れた設問のほうがよいとのご指摘をいただきましたが、逆に事例に引っ張られた数値が出る懸念があるため、今回の設問で数字を取ることのご理解をいただきたいと思います。
- ・ 47・48 頁の「江東区内の主要な観光・文化施設への来場者数」については、目標値の前提は何かとのご質問が浅見委員からございました。これから観光に力をいれたいと考え

ており、既にある深川の資料館や芭蕉記念館等の集客施設に加えて、墨田に建設中のスカイツリーの開業を見込んだうえで数値を設定しました。

- ・ 57・58 頁の「特別養護老人ホーム、老人保健施設、認知症グループホームの定員数」に関しては、青山委員から 65 歳以上人口比ベッド数を指標にしてはどうかとのご意見をいただきました。江東区は人口増加が続くため、母数が増加するとハードの建設を増やしても数値が伸びず区民にわかりづらいことから、定員数を指標にしたいと考えます。
- ・ 59・60 頁の「生きがいを感じている高齢者の割合」の目標値を前回 73%としましたが、浅見委員よりもっと大きくすべきとのご意見をいただき、80%といたしました。
- ・ 73・74 頁の「施策 32 災害に強い都市の形成」については、青山委員より、防災備蓄水量合計を指標にできないかとのご意見をいただきました。江東区は給水量に恵まれており、都の基準である 1 人 1 日 3 リットルをクリアし、現状として満たされていると考えますので、指標は従前どおりでお願いしたいと思えます。
- ・ 85・86 頁の指標は江東区の財政状況を表すもので、調整中としている目標値についても掲げていきたいと考えます。区は都の財政状況に影響を受けるため現在協議している最中です。70～80%が正常と言われている「経常収支比率」を 80%にするのか、現状 3.7%とかなり良好な「公債費比率」も増やして区民に還元するのか、「基金残高と起債残高との差し引き額」も 0 がいいのかどうか等、財政と議論のうえ記載いたします。

会長

- ・ ありがとうございます。前回からのご指摘を踏まえ修正を行っていますが、これについてご意見がある方はいらっしゃいますか。（特になし）
- ・ 後で戻ってもよいので次の議題「長期計画の構成」に進みます。説明をお願いします。

#### 4．長期計画の構成について

事務局

- ・ 長期計画の章立てについてご説明いたします。資料 50 をご覧ください。
- ・ これまで主にご議論いただいた内容については、第 2 章として記載し、その前提として第 1 章を設けたいと思えます。
- ・ 第 1 章は「計画策定にあたっての考え方」として大きく 4 つで構成したいと考えます。
- ・ 「1．長期計画の概要」で背景と位置づけ、体系と構成、期間を記載したいと思えます。
- ・ 特徴的なのが「2．重点プロジェクト」です。人口増加や南部のまちの急進を受けて、財政状況が厳しい中でも特に重点的に取り組みたいものを 6 つ掲げています。
- ・ 1 つは豊洲文化センター・図書館の改築について、南部地域の人口増に見合ったシビックセンターの整備を検討させていただきたいと考えます。
- ・ 2 つ目は、25 年度中の開院を目指して豊洲に総合病院を整備することです。
- ・ 3 つ目は大きな括りになりますが、街路樹、公園・校庭の芝生化、民間の建物の緑化指導の推進、温暖化防止設備への助成などにより「緑化・温暖化対策の推進」を行いたい

と思います。原資については、区民に還元する視点から、ゴミの迷惑負担料など区の収益を確立することで安定的に施策を進めたいと考えます。

- ・ 4つ目の「子育て・教育環境の整備」については、学校が大規模な改築・改修を迎えるために掲げました。また子育てに関して、保育所・認証保育所の整備についてですが、先週20日で保育園の申し込みを締め切りましたが数多くお申し込みいただきましたので、やはり前期5年できちんと整備することを盛り込みたいと考えます。
- ・ 「5．高齢者関連施設の整備」については、特養・認知症高齢者グループホームも前期5年でかなりの数を整備したいと思います。
- ・ 「6．南北交通の利便性の向上」は8号線の整備についてです。豊洲 - 住吉間は区の新たな動脈と捉え、重点プロジェクトにて示したいと考えます。
- ・ その他に重要なことについては「4．長期計画の視点」として整理しました。これは協働に関する考え方を示したもので、未来会議から基本構想審議会、この策定会議に至るまでの重要な視点です。区の若手職員や係長中心にNPOや各種団体の方が加わったワーキングで現在検討しているものができて参りますので、庁内でオーソライズのうえ、基本的な部分を取り入れたいと考えます。
- ・ 4の中でも「3．行財政改革の推進」ということで、行政評価システムの見直しやアウトソーシング等の考え方を整理し盛り込みたいと思います。
- ・ 4の「4．施設整備・改修計画」も大きな関心事ですから掲げたいと思います。
- ・ 以上のように「2．重点プロジェクト」と「4．長期計画の視点」が今回の計画の特徴となります。
- ・ 最後尾に「資料」とありますが、未来会議や基本構想審議会、この策定会議でご議論いただいた内容やインタビュー、区民の声等、プロセスの結果も盛り込みたいと思います。

会長

- ・ ありがとうございます。長期計画の構成についてご意見等ございますか。

委員

- ・ 「2．重点プロジェクト」を強調したいとのことでしたが、この長期計画を初めて見る人を想定すると、この位置でよいのか疑問です。
- ・ 例えば第1章は「1．長期計画の概要」、「2．長期計画の前提」とし、第2章の「分野別計画」の冒頭に「重点プロジェクト」、第3章に「長期計画の視点」というか計画のあり方として構成するほうが自然ではないですか。
- ・ このままだと重点プロジェクトだけが一人歩きして、かなり議論した分野別計画が飛んでしまう懸念があります。多くの分野別計画があり、その中で重点的なものが6つという見せ方のほうがわかりやすいと思います。

委員

- ・ 私も同じ意見です。
- ・ 長期計画の概要の後に前提や視点がある方が、その後の内容がわかりやすいと思います。

委員

- ・重点プロジェクトの6項目はよいが、3つ目の緑化のところに水辺を追加して欲しいと思います。
- ・6つ目の南北交通については8号線だけではなく、区役所にどこからでも乗換えなしで来られるバス路線あるいは路面電車などの交通システムの確立をもう1点追加していただきたいと思います。

委員

- ・計画に区民の意見が反映されていることを、どこに記載するのかうかがいたい。
- ・記載する際は文章もよいが、概念図のような、関連がわかるものを追加して欲しいと思います。区民参加が長期計画に生きていることをわかるようにして欲しい。

事務局

- ・記載する場所については「資料」のところにするかどうか含め検討が必要だと思います。
- ・未来会議からの流れや、策定会議、グループインタビュー等その時々キーワードを整理し、硬い計画だけでなく区民とつながっている部分も示したいと考えます。

委員

- ・江東区の標語になっているので水辺をぜひ追加して欲しい。
- ・重点プロジェクトの5つ目の高齢者関連の施設については、特養を中心に考えているとのことだが、そういった具体的内容を今後示して欲しい。

委員

- ・第1章「計画策定にあたっての考え方」の中に「長期計画の概要」「長期計画の前提」「長期計画の視点」を配置し、第2章を「重点プロジェクト」として目立たせ、第3章を「分野別計画」としてはどうですか。

委員

- ・区民が未来会議から参加しているという流れを、前提か視点か位置づけかわからないが、入れたほうがよいと思います。
- ・重点プロジェクトの位置は2通り考えられると思います。計画の考え方があり、重点プロジェクトがあり、分野別計画があるという考え方が1つ。分野別計画を考えた結果、そこから重点プロジェクトが出たという後ろに置く考え方がもう1つ。いずれにしても3章だてだと思います。
- ・タイトルの表現については、第1章と書きぶりを揃えるなら第2章は「長期計画における分野別計画」としてはどうでしょうか。

委員

- ・長期計画が基本構想を受けた形で成立していることを明確にして欲しいと思います。

会長

- ・構成についての意見を様々ないただきましたので、それを踏まえて事務局にて検討していただきたいと思います。何をPRしたいかで構成が変わると思います。これまでの日本

の長期計画は順を追って見せる方法でしたが、例えばヨーロッパを参考にするとロンドンプランは経済成長とソーシャルインクルージョンと環境の3つをいきなり提示するなど、これからは別の方法もあると思います。

委員

- ・概要版を作成するはずですが、概要版の構成と本編の構成をわざと変えて、概要版は結論から、本編はオーソドックスにという方法も経験があります。インターネットでの掲載も概要版で重点だけを見せることも大事になると思います。

委員

- ・重点プロジェクトを強調することは区民にわかりやすいと思います。みなさんに読んでいただくためにも、最初にインパクトを与えてもよいのではないのでしょうか。

## 5. 主要事業について

会長

- ・それでは、主要事業についてご説明をお願いいたします。

事務局

- ・今回は、財政が厳しく事業に予算をつけるのが難しいという状況についてご報告いたしました。先週末をもって財政課との調整が終了いたしました。
- ・まだ議会も経ていないため、資料51は案としてご検討いただきたいと思います。
- ・主要事業は、各施策の手段として代表となる事業です。長期的に組み立て実現していくためにハード事業が多くなっています。整備・改修等のハード事業を54、他にソフト事業を21の計75事業を選定し、これについて予算的な枠組みを確保しています。まず5ヵ年分はきちんとフレームを組んだと理解していただきたいと思います。
- ・目新しく、区民要望の高い事業を紹介しますと、「施策1 水辺と緑のネットワークづくり」の主要事業3「区民農園の整備」がございます。既に2箇所ありますが人気があるため3箇所目の整備を検討いたしております。
- ・施策4に関して、7「資源回収事業」は経常的に行っているものですが、22年度は発泡トレーや容器包装プラ等について、現在他区に先んじている状況にあるものを、再度力を入れていこうと考えています。
- ・施策6については待機児童数ゼロのお話でしたが、保育園・認証保育所の整備を進めて参ります。
- ・施策8の「確かな学力強化事業」とは、小学4年生と中学3年生等に教師の資格を持つ臨時職員を配置し、学力強化を図る事業です。
- ・施策9の19「幼小中連携教育事業」は小1・中1支援員に関するものです。学校に慣れたり、教師とのつながりをつくったりする助けとして、一般施策の上乗せとして行うものです。



- ・施策 12 の 23「放課後子どもプラン事業」は、学童クラブ、げんきっず事業の連携・一体化事業として整備を進めたいと考えます。
  - ・施策 21 の「観光活性化事業」「観光拠点施設整備事業」は、亀戸のレトロ商店街事業や亀戸 4 丁目の銀行跡地の整備を進めたいというものです。
  - ・施策 25 は「特別養護老人ホームの整備」「介護老人保健施設の整備」「認知症高齢者グループホーム」等について、できる限りの整備を盛り込みたいと考えております。
  - ・施策 31 の「都市計画道路の整備」「道路の無電柱化」については、富岡でモデル事業を進めた後、城東、豊洲地区について整備を進めたいと考えます。
  - ・最後の「計画の実現に向けて」の「(仮称)シビックセンターの整備」は、先程紹介しましたように豊洲の文化センターの改築に伴い、人口増に合わせた機能の付加を検討いたします。
  - ・本日は金額等の詳細を示せず申し訳ありませんが、これまで議論してきた分野別計画の手段として主要事業の検討案が示されているとご理解いただきたいと思います。
- 会長
- ・ありがとうございました。それでは、主要事業についてご質問等あればお願いします。
- 委員
- ・確かな学力強化事業については、小学 4 年生は良いとして、中学校は 3 年生対象とのことでしたが、学力強化するならもっと早い段階で行うべきではないでしょうか。
- 事務局
- ・訂正します。ご指摘のとおり小学 4 年生と中学 1 年生に各々週 5 時間と 4 時間でした。中学 2・3 年について別枠を設けてはおりますが、メインは小学 4 年と中学 1 年でした。

## 6．人口推計について

会長

- ・それでは、人口推計についてご説明お願いいたします。

事務局

- ・資料 52 の 1 頁をご覧ください。人口推計はすべての計画の基礎になるものです。「図表 1 - 1」の破線部分が、基本構想審議会にて資料としてお示した平成 20 年 3 月時点の推計値です。当時は、豊洲、東雲といった臨海部の人口の張り付きが急で平成 27 年には 555,000 を超えると推測していました。その後は張り付きがなだらかになるとして平成 32 年には約 587,000、平成 41 年には約 630,000 と推測しました。
- ・ところが、不況の影響で豊洲や潮見等の臨海部の張り付きがペースダウンしているため、今回の長期計画策定にあたり再度人口推計を精査しました。それが資料の表紙上段の表です。今年の 1 月 1 日現在 455,459 だったものが 5 年後の平成 26 年には約 490,000、10 年後の平成 31 年には約 540,000 としています。
- ・特徴としては、年少人口が、豊洲地区を中心とした南部で増加する影響により現在の約

53,600 から 10 年後は約 72,000 と伸びて参ります。

- ・その親世代にあたる後期壮年層も、現在約 136,000 が 10 年後は約 200,000 に増加します。
- ・ファミリー世帯の転入で若い人口が増加するといった特徴を有しつつ、やはり高齢人口も 10 年後の平成 31 年には 110,000 を超え、高齢化率が 21% を超えると考えられます。
- ・世帯数も 10 年後には 250,000 を超えると考えられます。
- ・地区別では、豊洲地区が平成 21 年に 81,000 超から 10 年後には高めに見ずとも 135,000 を超えると推測されます。他の地区についても、今後 10 年間では減少傾向は見られないと考えております。

委員

- ・平均世帯人員がこんなに増加するだろうか。

事務局

- ・平均世帯人員は減少するのが当然の昨今、これは特徴的だと思います。

委員

- ・外国人は入っていますか。

事務局

- ・入っています。

委員

- ・年少人口増加を見ると学校建築が追いつくか心配ですが。

事務局

- ・主要事業の説明の際には申し上げませんでした。他の自治体ではあまり見られない事業として「校舎等の新增設」があり、豊洲、有明等に対応します。

会長

- ・1,000 人規模の小学校は現在ありますか。

事務局

- ・ありません。

会長

- ・荒川区の汐入小学校が 1,000 人以上だったと思います。分かれる予定ですが。

委員

- ・高齢者人口の伸びの割合はそれほど高くないが、将来的に介護等をどのように支援すべきかを考える際には高齢者層の平均世帯人員が重要になると思います。事業レベルで区背景として説明すればよい話かも知れませんが。

事務局

- ・その点については長期計画には盛り込みきれず下位計画に譲ることになると思います。
- ・高齢者層の世帯動向の数値そのものはなく、世帯主年齢別データが参考になる程度です。

委員

- ・5 頁の「図表 2 - 2」は地区別外国人登録人口を表したものでしょうか。

事務局

- ・表は地区別推計人口の推移と見通しで、注として地区別外国人登録人口に触れています。

事務局

- ・人口推計は非常に難しいもので、5年間でこの長期計画を担保する人口とご理解いただきたいと思います。
- ・先のことは分からないというのが率直なところで、私たちの推計はコーホート要因法によるため過去の傾向の影響で高めに出てきますが、20年後の数値については、23区のほとんどを横ばいから減少とする国の推計の方が正しいかも知れません。

会長

- ・人口推計には、一般的にマクロの推計は外れミクロの推計は当たる傾向がありますね。

委員

- ・マンション建設等が影響すると思います。

事務局

- ・当区の特徴ですし、推計に加味しています。

## 7. 今後のスケジュールについて

会長

- ・本日は、総まとめ的に各分野についてご意見をいただきました。
- ・それでは、今後のスケジュールについて説明願います。

事務局

- ・構成等についていただいた、貴重なご意見をもとに検討を進めたいと思います。
- ・今後のスケジュールについて資料53をご覧ください。構成や主要事業等についてもまだ検討の必要がありますので、2月の上旬にもう1回開催させていただき、その際には議会を経た資料をお出ししたいと考えます。具体的調整は事務局にて行いたいと思います。
- ・本日終了後に新たなご意見等ございましたら、添付の意見メモにご記入いただき、12月2日（水）までにご提出ください。

委員

- ・分野別計画53頁の結核罹患率現状値について、単位が「人」とあるので確認願います。

委員

- ・資料50の重点プロジェクトの中に防災に関して盛り込む必要があると思います。意見メモもつけているのでご検討をお願いします。

委員

- ・江東区が取り組んできた防災インフラは時間が経過しており、インフラの更新という面で土木系の先生が心配しています。たて続くであろうインフラの更新時期についても、きちんと考えていることをどこかに示して欲しいと思います。

8 . 閉会

会長

- ・ それではこれで終わります。本日はありがとうございました。

以上